

湖北野鳥センター
問 ☎79-1289



楽しいだけでは終わらないのが夏休み。子どもだけでなく親をも悩ませるのが「自由研究」。何かから手をつけて良いか分からず、毎年夏休み終盤で焦っていませんか？

それなら、湖北野鳥センター（湖北町今西）へ行きましょう。今夏の研究テーマがきっと見つかります。

センター前の琵琶湖には、夏の鳥カマガモの親子やカイツブリが、もうやってきています。その他、館内にはいろんな生き物に関する情報がいっぱい。オオクワガタやスズムシなど、様々な生き物の飼い方をスタッフが親切に教えてくれます。もしかしたら、プレゼントもあるかも…

ゆかた散策 長浜へGO!
問 長浜商工会議所 ☎62-2500



古来より、日本の夏を彩ってきたゆかた。着ただけで背筋がピンと伸びる気がして、和の趣を感じます。今年の夏はゆかた姿で出かけませんか。長浜のまちがそんなあなたをいざないます。

中心市街地にあるお店約80店舗がゆかた姿のお客さまに割引サービスや特別メニューなどでおもてなしをしてくれます。3つのお店を回ってスタンプを集めると、オリジナル缶バッジを手に入れることもできます。

期間は8月4日（木）まで。詳しくは協力店または長浜商工会議所で配布している散策マップをご覧ください。

奥びわスポーツの森
問 ☎72-2548



恵まれた自然環境を有効に活用し、自然に親しみながら気軽にスポーツを楽しめる憩いの場、奥びわスポーツの森（早崎町）。夏の定番、プールの他にもテニスコートやグランドゴルフのコース、多目的運動広場があります。

体力づくり、健康増進、ストレス解消、メタボ予防に訪れてみてはいかがでしょうか？くれぐれも熱射病には気をつけて、思い切り楽しみましょう。なお、プールの利用は8月21日（日）までです。

虎御前山教育キャンプ場
問 ☎73-4853



山と川に囲まれた静かな場所にある高山キャンプ場（高山町）。バンガローやオートキャンプ場が整備されていますので、親子で野外生活を体験しましょう。夜には満点の星空があなたを包み込みます。

県下2番目の高さを誇る「金糞岳」への登山や、草野川での釣りを楽しむこともできます。豊かな自然を満喫してください。



高山キャンプ場
問 ☎76-0076

織田信長が小谷城攻めの最前線の砦とした虎御前山。豊かな自然と悠久の歴史の息を感じながらのアウトドア活動はいかがでしょう？

バーベキュー用の備品は無料で貸し出しをしているので、食材と炭の持ち込みだけで手軽にバーベキューを楽しむことができます。宿泊棟は大人890円、小中学生390円で利用可能です。事前予約をすれば陶芸の体験もできるので、夏の思い出作りに、ご家族や友人達と利用してみてもいいですね。

滋賀県で一番の広さを誇る長浜市には、まだまだ知らない地域独自の魅力があります。知れば知るほどもっと身近に感じられ、地元・長浜に対する愛情が深まります。これから毎月15日号では市内各地域の紹介を行っていきます。今回は「夏休み」をテーマに夏を楽しめる市内各所をご紹介します。あなたの知らなかった長浜の魅力を見つけてください。

美しい琵琶湖満喫！ 二本松水泳場
問 ☎89-1370



二本松水泳場（西浅井町大浦）の自慢はなんと言っても水質の良いこと。美しい湖水に浮かぶ竹生島を臨みながらの湖水浴は、私たちにとってはとても身近な夏の楽しみです。併設のキャンプ場にはバンガローや売店があり、県内からの家族連れや観光客でにぎわっています。

親子で遊べます。ウッディパル子どもミュージアム
問 ☎86-4145



ウッディパル余呉（余呉町中之郷）に新たにオープンした「よご子どもミュージアム」は五感を使って学び、生きる知恵を育む、子どものためのミュージアムです。その中でも特に目を引くのが木の玉プール。数万個の木の玉が入ったプールにつかれば大人も子どもに返って楽しめます。また、8月13、14日には夏休みイベントとして夏祭りが開催されます。夏の楽しい思い出づくりに足を運んでみてはいかがでしょうか？

自然を遊びつくそう！ 大見いこいの広場
問 ☎82-2500



木之本町大見は、四方を山に囲まれた集落の中を大見溪流が流れる静かなところで、医王寺には重要文化財の十一面観音が収められています。ここにある「大見いこいの広場」では、豊かな自然の中でアウトドアとレジャーを満喫できます。特に、夏休みの時期になると全国からたくさんの親子連れや学生が集まり、キャンプや水遊びなどで大いに賑わいます。

高月町の西野水道は、江戸時代に充滿寺恵莊上人が洪水に苦しむ村人たちとともに山の固い岩盤を掘りぬいてつくったびわ湖への排水路で、県の指定文化財です。

現在3本に増えたトンネルのうち、昭和25年に作られた2本目は琵琶湖岸への通路になっています。特筆すべきはこのトンネルの涼しさ。トンネル内はなんと外気温よりも7℃近く低いのです。真っ暗のトンネルを出口の明かりを目指して歩くのも、夢の中をさまよう感じでちょっと面白いですよ。

1本目は1人ずつやっと通れる細いトンネルです。コウモリと天井からのしずくを覚悟して、長靴とヘルメット、懐中電灯を着装して挑んでください。



穴場納涼スポット 西野水道
問 ☎85-3114